

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良YMCA おおぞら		
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月1 日		～ 2026年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分に身体を動かせる体育館があるということ。 土曜日は、終日の活動ができること。	思いきり身体を動かして、発散できる活動や、仲間と一緒にルールのあるスポーツに挑戦しながら、強調性や協力など学んでいくことや、運動しながらできることを増やし自己肯定感を高めていく	相手のある試合形式へもっていきたい。土曜日は、もっと色んな経験や体験プログラムを取り入れたい。
2	ひとり一人にあった、アプローチで寄り添った支援を心がけている。	小集団ですので、みんなで同じことしたり個別に課題を与えたりできるので臨機応変に対応しています。送迎がないため、お迎え時に話せる機会がありますので、学校やご家庭の様子も聞けますし、連絡帳にも書いてくださると様子伝わってきます。	引き続き、子どもにも保護者にも寄り添い信頼関係を築く。
3	楽しい場所であることを心がけています。	プログラムを、遊びを通して子どもたちが退屈せずに参加できるものを工夫して企画しています。	学校でいやなことがあって気分が落ち込んで、おおぞらへは行きたいと思ってもらえる環境設定、関係を築いていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語聴覚士や作業療法士を配置できていない	新しく採用するには難しい。	現スタッフで可能な限り、資格取得を検討。また、該当する研修に参加し、知識を習得するようにして支援に繋げるようにしている。
2	教室が3階にあるため、階段の移動が危険	階段を上り下りで、踏み外しや転倒防止に注意する	手すりを持つように促していることと、年齢に応じて必ず、大人が手を繋いで移動するようにしている。
3	保護者支援プログラムが実施できていない	立案・企画・実施できる職員の減少	外部講師を招いてまでいかなくとも、保護者同士が集まってお互いの悩みを打ち換えて共感したりできる、ざっくばらんな時間でも、繋がる機会かと思いますので、検討します。